

関 係 各 位

愛知県農業総合試験場長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について (送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。

記

令和3年度病害虫発生予報第9号 (12月)

担 当 環境基盤研究部病害虫防除室
電 話 0561-62-0085
内 線 471
ファックス 0561-63-7820

令和3年度病害虫発生予報第9号 (12月)

令和3年12月3日
愛 知 県

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	コナガ	平年並	県全域	11月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップによる誘殺 数は平年並	± ±
キャベツ	コナガ	やや少ない	県全域	11月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップによる誘殺 数は平年並	－ ±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	11月下旬の発生量は平年並 12月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	黄化葉巻病	多い	県全域	11月下旬の発生量は多い 11月下旬のコナジラミ類の発生量は多い	＋ ＋
	コナジラミ類	多い	県全域	11月下旬の発生量は多い 12月の気温は高い	＋ ＋
ナス (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	11月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	11月下旬の発生量は少ない 12月の気温は高い	－ ＋
キュウリ (施設)	べと病	やや少ない	県全域	11月下旬の発生量はやや少ない 12月の日照時間はほぼ平年並	－ ±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	11月下旬の発生量はやや少ない 12月の気温は高い	－ ＋
イチゴ (施設)	灰色かび病	平年並	県全域	11月下旬の発生量は平年並 12月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	うどんこ病	平年並	県全域	11月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	平年並	県全域	11月下旬の発生量は平年並	±

・防除対策

〔トマト・黄化葉巻病、コナジラミ類〕

11月1日発表の「令和3年度病害虫発生予察注意報第11号」を参照してください。

・留意事項

ハクサイのコナガについて、フェロモントラップへの成虫の誘殺数が多い地域があります。幼虫の発生を確認したら、若齢のうちに防除しましょう。収穫後は、残さを速やかにすき込み、発生源を除去しましょう。

ハクサイベと病は、病斑上にできる分生胞子によって伝染します。発病葉等を見つけたら速やかにほ場外に持ち出し、適切に処分しましょう。

キャベツ菌核病の発病株は伝染源となるので、菌核を形成しないうちに抜き取り、ほ場外に深く埋めるなど適切に処分しましょう。

施設野菜では、この時期、保温のため施設を閉め切ると湿度が高くなり、灰色かび病が発生しやすい条件となります。初発を確認したら速やかに防除しましょう。特に、暖房機の設定温度を低くしている場合は、暖房機の稼働時間が短くなり、施設内が多湿になりやすいので注意しましょう。また、発病果や発病葉は速やかに取り除いて施設外に出し、適切に処分しましょう。

トマトでは、すすかび病の発生が多いほ場があります。湿度管理を適切に行うとともに、発生しているほ場では防除を徹底しましょう。

キュウリでは、ミナミキイロアザミウマがキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MY S V）を媒介するので、防除を徹底しましょう。発病株は伝染源になるので、見つけ次第抜き取って適切に処分しましょう。

イチゴでは、ハダニ類の発生が多いほ場があります。多発すると防除が難しくなるので、ハダニ類を見つけた場合は速やかに系統の異なる薬剤でローテーション防除しましょう。訪花昆虫や天敵を導入している、あるいは今後導入を予定しているほ場では、それらへの影響も考えて農薬を選定しましょう。

作物

・留意事項

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は、本田や水路で土中に潜って越冬します。本年スクミリンゴガイによる被害が見られたほ場では越冬量を減らすため防除対策を行いましょう。詳細は本日発表の「スクミリンゴガイ情報第3号」を参照してください。

果樹

・留意事項

今年は全体的に降水量が多く、落葉果樹において病気の発生が目立ちました。次作における伝染源の除去などの冬季対策を実施しましょう。詳細は本日発表の「果樹の病害情報第2号」を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台12月2日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：20% 平年並：30% 高い：50%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも、洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。